編集部の 授業見学レポート

教材名

段ボールベッドへの思い

内容項目　C（13）勤労

教科書
2年　P.66~69

実践者
松本照代 先生
川崎市立川崎高等学校附属中学校　教諭

授業見学にあたって

◆２年生で職場体験学習を行う中学校が多いと聞きます。いっぽうで、働くことをそれほど具体的には考えられない時期でもあるのか、この時期の中学生は、職業選択について自分の好みや経済性に目が向きがちという話も聞こえます。中学２年生は、この授業で「働く」ということをどのように捉えるのか。興味深く見学しました。
◆川崎市立川崎高等学校附属中学校では、１コマ 45 分で授業が構成されていました。

授業の概要

◆主題名：社会に貢献する心
◆ねらい：避難者の健康を考えて段ボールベッドを考案し、設計図を無償で公開した会社の人の話を通して、勤労が社会貢献につながることを知り、働くことのさまざまな意義について考え、人や社会のために働いていこうとする意欲を育てる。
◆生徒数：40 人程度
◆教材のあらすじ：職場訪問学習で、段ボールを作る会社を訪ねた中学生２人。対応してくれた社員は、お客さまの要望をきちんと製品にすることの大切さや、東日本大震災をきっかけに段ボールベッドを開発したことを語る。現在、段ボールベッドの設計図は無償で公開されているが、その背景には、利益の追求にとどまらない思いがあった。

当日の授業の流れ

	学習活動／先生の発言／生徒の発言・様子	編集部のまなび／指導の工夫
導入	**アンケートの結果を共有する。〈２分〉** ●今朝の「将来働くときに、何を大切にするか」というアンケート、何が一番だったと思いますか。テキストマイニングをしたら、「環境」「お金」などが挙がりましたが、一番は「やりがい」でした。 ●今日は「働くことの意義」について考えていこうと思います。	◆事前アンケートの結果をテキストマイニングで視覚的に示すなど、導入に時間をかけすぎず、生徒の意識を引きつけていた。
展開	**教材を読み、登場人物を確認する。〈５分〉** ●今日は、教科書 66 ページの「段ボールベッドへの思い」で考えます。	◆先生が教科書を読み、その後、４人の登場人物を確認。
	段ボールを作る会社の人の思いを考える。〈９分〉 ●いろいろな段ボール箱って、どんなものか、想像つく？ ・家電の段ボール。部品に合わせて凹凸がある。 ・ペットボトルの入っている箱。取っ手がついている。 ●この会社の人は、どんな思いで段ボール箱を作っているのでしょう。 ・お客さまが必要としているときに用意して、役に立ちたい。 ・会社の人も震災を経験しているから、つらい人の役に立ちたいと思った。 ・段ボールは注目されることが少ない。感謝のお便りとかも少ないと思うから、やりがいは感じられなさそう。 ●（エコノミークラス症候群や震災関連死などの補足説明をする。）	◆この段階で「いろいろな段ボール箱」の写真や実物を見せなかったのは、この後の活動で、実際の段ボールベッドを見たときの「驚き」をより大きなものにするため。 ◆「やりがい＝感謝などの見返り」と捉えている生徒がいたが、この後の話し合いを通して「やりがい」についての考えが変容したようだった。
	段ボールベッドの実物を組み立て、使ってみる。〈６分〉 ●これからみんなに、段ボールベッドの実物を見せたいと思います。 ・わあ！！（生徒たち全体から声が上がる。） ●（生徒といっしょにベッドを組み立て、できあがったベッドに生徒を寝かせ、見ている生徒には、寝ている生徒に質問をするよう促す。） ・冷たくはない。　・枕があれば寝られそう。　・安定感がある。	◆先生自身が教材の基となった「Ｊパックス株式会社」に問い合わせ、段ボールベッドを入手。実物を提示することで、生徒の関心が一気に高まった。
	設計図を無償で公開した思いについて考える。〈５分〉 ●この会社は、どうして無償で設計図を公開したんだろう。無償ということは、利益は出ないっていうことだよね。 ・利益もあるけど、命のことが大事だったから。命はお金に変えられない。 ・有料にすると、SNS で叩かれて立場が悪くなる。無料で印象をよくすれば、後で買ってもらえて Win-Win になる。 ・自分たちだけでは人手が足りない。多くの人に届けられるように。 ・他の会社にも、困っている人を助けてほしい。 ・自分たちの考えた段ボールベッドで多くの人が救えるなら、お金より命のほうが大事だと思えるから。 ○みんなそう言うけど、みんなだったらできる？　例えば、自分がテストのために一生懸命作ったまとめのノートを、ただで友達に貸せる？（挙手を促す。） ・（貸せる人・貸せない人、同じぐらいの人数が挙手。） ●貸せる人も貸せない人もいる。でも、貸せないのは悪いことではないよね。この会社の人たちにも、きっと、いろいろな気持ちがあったよね。	◆無償で公開することは、利益にはつながらないことを確認したうえで考えさせていた。 ◆生徒から一通り意見が出たところで、無償公開は簡単にはできないことを自分に引きつけて考えさせる問いかけを加えていた。 ◆無償公開できないことは悪いことではないという確認と、その判断の背景を想像させるような投げかけを加えて、次の活動につなげていた。
	働くときに大切なことについて考える。〈15 分〉 ●では、もう一度ききます。皆さんは、将来働くときに何を大切にしますか。 （４・５分程度、記入時間を時間を取る。） まだ書いている人もいるみたいだけど、グループで話し合ってください。 （３分程度、話し合いの時間を取る。） では、働くときに大切にしたいことを発表してください。 ・やりがいが大切だと思っていたけど、利益が大切だと言う人もいた。でも、信念をもってやり通せば自分の利益につながるから、やりがいは大切。 ・やりがいも利益も大事。他人のことを考えるなら「社会にどれだけ貢献できるか」。選択肢はたくさんあったほうがいい。 ・働くのは自分だけではできない。ゴールはいい社会にすることだから、みんなで協調して働いたらいい。 ・例えば、麻薬の密売は利益は上がるかもしれないが、社会はよくならないし、いい職業とはいえない。利益ばかりでなく、やりがいをもって社会に貢献する仕事がしたい。	◆「将来働くときに大切にしたいこと」をワークシート（端末）に記入したうえで、グループで話し合い、全体で意見交流を行うという流れ。 ◆生徒が記入したり、話し合ったりしている間、先生は机間指導をしながら生徒の考えを把握し、発表の際の意図的指名に生かしていた。
終末	**本時の学びを振り返る。〈３分〉** ●この授業を通して感じたこと、考えたことを書いてください。 ・自分は、やりがいだけを考えて短絡的になっちゃったけど、「やりがい」も「利益」もと考えたらすごいなと思った。 ・利益も大事だけど、他の人のためにする仕事になったらいい。 ・仕事をして、どのくらい社会貢献になるか。やりがいも、利益につながる。そしたら自分は、やりがいを重視したい。 ●（段ボール会社の社長から聞いたエピソードを紹介する。）	◆今日考えてきたことをワークシート（端末）に記入するよう促す。 ◆先生がＪバックスの社長から聞いた子どものころのエピソードを紹介。その後、ワークシートを書き終わらなかった生徒への指示をして、本時は終了。

●…先生の発言　　黄色マーカー…先生による発問・活動指示
○…生徒の発言に対する先生の問い返し・揺さぶり　　・…生徒の発言・様子

（授業見学日：2025 年６月７日）